

一般質問

議員は、毎年3月、6月、9月、12月に開く定例会市議会で、市政全般に対し質問をすることができます。これを「一般質問」といいます。

今定例会では、17人が一般質問を行いました。ここに掲げたのは、その質問・答弁の概要で、質問者本人が執筆しております。なお、一般質問の様子は、議会ホームページからご覧いただくことができます。

令和元年6月26日 撮影

ここが ききたい

一般質問

市長公約

Q 進捗および今後は

浅生 和英 議員



A 公約を生かしまちの発展を目指す

議員 就任して一年、市長公約に関する進捗および今後は。

市長 市民の安心・安全を最優先に市政運営を進めてきた。今後も公約をうまく活用、どうすれば戸田市の明るい未来が切り開けるか、幸せを実感できるまちへと発展できるかを考え進めていく。

を開設した。提案の募集は、行政課題を設定する「テーマ型」と、課題設定を行わない「フリー型」の募集を行う。民間企業等の自由なアイデアを広く募集する。

公民連携で行政サービスの向上を

議員 行政改革・公民連携推進担当が設置された。①連携先と双方にメリットのある取り組みを②民間からの専門的なノウハウを取り入れ、質の高いサービスの推進を。

総務部長 ①協定締結先との対話を続け、双方にメリットのある取り組みを実現していきたい②公民連携専用窓口「公民連携ファーム」

議員 日よけ、早朝プレー、回数券の導入、コース増設、食品の提供などの要望がある。展望は。

環境経済部長 日よけは検討を進める。アイスも販売予定。動画の活用などで周知を図る。健康増進のメリット構築や多世代交流イベントの企画等を検討していく。



▲荒川水循環センター上部公園パークゴルフ場のパンフレット

特別支援教育

Q アドバイザーの役割は

佐藤 太信 議員



A 教師へのアドバイスをを行う

議員 特別支援学級を、来年度に新嘗中、令和3年度に戸田東小・中学校に設置予定と聞いている。①特別支援教育に携わったことがない支援員や教員によるサポート体制が課題である。特別支援教育アドバイザーの役割は②特別支援教育コーディネーターの役割、課題は。

教育部長 ①2人のアドバイザーが各学校を巡回、指導経験が少ない教師へのアドバイスを行う②特別支援教育コーディネーターは、全

小中学校に各1人以上配置、学級担任、保護者等との調整役を担う。担任等との兼務となり、業務負担が全国的な課題である。

選挙の啓発とバリアフリーは

議員 ①SNSを活用した情報発信は、告示日1回のみではなく、写真を活用する等、投稿頻度を増やしては②選挙公報の音声版、県議選でも配布を③郵便による不在者投票制度の周知方法の検討を。

行政委員会事務局長

①投票呼び掛けの内容を工夫し、発信の頻度を増やす②県議選では配布していない。県選挙管理委員会に要望する③重度の障がいがある場合など、自宅等で投票用紙に記入、郵送可能。周知について、福祉部と連携しながら検討する。

事故対策

Q 大津市の事故を受け、安全対策は

十川 拓也 議員



A 市内保育施設に調査を依頼

議員 大津市の事故を受け、戸田市の安全対策は。保育園・幼稚園等を対象としたゾーンの設置検討を。

市民生活部長 交通安全教室を平成30年度、保育園6園、幼稚園4園の合計10園で1453人を対象に実施。安全対策の助言や注意喚起など、警察等、連携を取り実施していく。保育施設周辺のゾーンの設置は、国の動向を踏まえ研究。

都市整備部長 安全対策強化のため市内77の保育施設に調査依頼。小中学校周辺の調査も再度実施。

学校近隣の砂ぼこり対策は

議員 喜沢小学校等で対策要望が出ている。スプリンクラーの稼働基準設定や防砂ネット等の設置を。

教育部長 土ぼこりはスプリンクラーで散水し対策。状況はさまざま

「はがき」での架空請求詐欺対策は

議員 最近、民事訴訟等の内容で架空請求詐欺が多く発生、対策は。

市民生活部長 平成30年度、市内の消費生活相談件数736件中、約2割145件のはがき架空請求の相談があった。対策では、チラシ等で注意喚起を行うほか、警察と連携し、対応を強化していく。防災無線活用の可能性も調整。



▲特別支援教育教職員研修の様子



▲市内を散歩する保育園児たち